令和7年度 長崎県立大学 一般選抜(前期)入学試験 化学基礎・化学(解答)

第1問〔解答〕

- 問 1 (ア) 原子核 (イ) 電子殻 (ウ) 閉殻(閉殻構造) (エ)(第一)イオン化エネルギー (オ) 電子親和力 (カ) 同位体
- 問 2 Ar
- 問 3 (1) K (2) S²⁻
- 問 4 9:6:1
- 問 5 1.7×104 [年前]
- 問6 (ア) ⑧ (イ) ⑥ (ウ) ③ (エ) ② (オ) ⑩ (カ) ⑫
- 問7 (1) ふたまた試験管
 - (2) 試験管を傾けたとき、亜鉛粒がくびれにかかり希硫酸と分離することで反応を止めやすいから。
- 問8 (1) 1:3 (2) 1.7×10² [L] (3) 8.9×10⁻¹ [g]

[解説]

- 問 5 12.5%は $\frac{1}{8} = \left(\frac{1}{2}\right)^3$ ∴ 5.73×10³×3=1.719×10⁴
- 問8 (1) メタンの存在率をxとおくと、16x+44(1-x)=37より x=0.25 メタン:プロパン=0.25:0.75=1:3
 - (2) メタン 2L、プロパン 6L からなる混合気体より、完全燃焼の化学反応式より必要な同温・同圧の酸素は全体で 2×2+6×5=34(L)∴必要な空気は 34×5=170(L)
 - (3) 状態方程式に代入して

$$(1.04 \times 10^5 - 4.0 \times 10^3) \times 0.60 = (\frac{w}{37}) \times 8.3 \times 10^3 \times (27 + 273)$$
 $w = 0.891 \cdots$

第2問〔解答〕

- 問1 (ア) ダニエル (イ) 亜鉛 (Zn) (ウ) 硫酸 (エ) 二次
- 問 2 【a】 ② 【b】 ④
- 問 3 $PbO_2 + 4H^+ + SO_4^{2-} + 2e^- \rightarrow PbSO_4 + 2H_2O$
- 問 4 -39 (g)
- 問 5 2.8
- 問 6 ④

問7 中和点のC点は酢酸ナトリウム水溶液であり、水溶液中で酢酸イオンとナトリウムイオンに電離した状態にある。その酢酸イオンの一部は加水分解によって酢酸と水酸化物イオンを生じるから。

問8 12.3

[解説]

問 5 酢酸水溶液の濃度は滴定曲線から 0.10 mol/L。酢酸のモル濃度を C(mol/L)、電離度を α とおくと、電離定数 $K_a = C\alpha^2/(1-\alpha)$ $1\gg \alpha$ より $1-\alpha = 1$ とみなせ、

$$K_{\rm a}$$
= $C\alpha^2$ ∴ $\alpha=\sqrt{\frac{K{\rm a}}{c}}$ よって [H⁺] = $C\alpha=\sqrt{CK{\rm a}}$

[H⁺] = $(0.10 \times 2.5 \times 10^{-5})^{\frac{1}{2}} = 2.5^{\frac{1}{2}} \times 10^{-3}$

: pH=-log₁₀(2.5
$$\frac{1}{2}$$
×10⁻³)=- $\frac{0.40}{2}$ +3 = 2.8

問 8 D 点は、C 点の酢酸ナトリウム水溶液に 0.10mol/L の NaOH 水溶液 5.0mL を加えた混合水溶液である。したがって、D 点の混合水溶液の pH は

 $\frac{0.10 \times 0.0050}{0.025} = 0.020 \text{mol/L}$ の NaOH 水溶液と同じと考えられる。

ゆえに
$$[OH^-] = 2.0 \times 10^{-2} (mol/L)$$
 $K_w = 1.0 \times 10^{-14} = [H^+] \times (2.0 \times 10^{-2})$ より $[H^+] = \frac{1}{2} \times 10^{-12} (mol/L)$ \therefore $pH = -\log_{10}(\frac{1}{2} \times 10^{-12}) = 12.3$

第3問〔解答〕

問1 ② ⑤

問 2 1.0 [mol]

問3 12 V² [L²/mol²]

問 $\frac{12 V^2}{R^2 T^2}$ 「Pa⁻²」

問 5 (ア) 13 (イ) ボーキサイト (ウ) 両性 (エ) 鋼 (オ) 不動態 【①】 Zn(OH)₂ 【②】 [Zn(NH₃)₄]²⁺

問6 酸化アルミニウムの融点を下げるため(17字)

問 7 2Al + 2NaOH + 6H₂O \rightarrow 2Na [Al(OH)₄] + <math>3H₂

問 8 58.5 [g]

問 9 5.5×10² [kg]

[解説]

問3 平衡時、N23mol、H21mol、NH36molが存在する

$$K_{c} = \frac{\left(\frac{6}{V}\right)^{2}}{\left(\frac{3}{V}\right)\left(\frac{1}{V}\right)^{3}} = 12 V^{2}$$

問 4
$$P_{N_2} = [N_2]RT$$
 より $K_p = \frac{([N_{H_3}]RT)^2}{([N_2]RT)([H_2]RT)^3} = \frac{Kc}{(RT)^2}$ 問 3 より $K_p = \frac{12 V^2}{R^2 T^2}$

- 問8 発生した水素は 1.5mol。 Zn と Al が 1mol ずつ反応すると、それぞれ水素が 1.0mol と 1.5mol 発生する。Zn を x(mol)、Al を y(mol)とすると、

 - ① x+1.5y=1.5 ② 65x+27y=69.3
 - (1), (2) \sharp \emptyset x=0.90 (mol) \therefore $65 \times 0.90 = 58.5 \text{(g)}$
- 問9 銑鉄中の Fe の質量は 3.4×10²×0.96 (kg)

赤鉄鉱 w(kg)に含まれる Fe の質量は w×0.85×(56×2/160) (kg)

$$\therefore 3.4 \times 10^2 \times 0.96 = w \times 0.85 \times (56 \times 2/160)$$
 w=5.485 ··· ×10² (kg)

$$w=5.485 \cdot \cdot \times 10^{2} (kg)$$

第4問〔解答〕

問 1 C₈H₁₀O

- 問 2 (1) フマル酸 (2) 11 [mg]

- 問3 (1) 5 (2) 2-ブタノー

- 問 5 (1) ② (2) (ア)必須アミノ酸 (イ)単純 (ウ)複合 (エ)塩析 (オ)変性
- 問 6 (1)(a) ビウレット反応
 - (b) 分子内に2つ以上のペプチド結合をもつ。
 - (2) キサントプロテイン反応 (3) PbS (4) ④ (5) 469

[解説]

問1 化合物 C は分子式 C₄H₁₀O のアルコール。

したがって、求める化合物 A の分子式は

$$C_{16}H_{20}O_4 - C_4H_4O_4 - C_4H_{10}O + 2H_2O = C_8H_{10}O$$

問 2 (2) C₄H₄O₄(=116) 1mol を完全燃焼させると CO₂は 4mol 発生。

$$\therefore \frac{7.25}{116} \times 4 \times 44 = 11 \text{ (mg)}$$

- 問3 (1) C₄H₈の炭化水素の構造異性体は、鎖式に3種類、環式に2種類存在する。 ※シスートランス異性体(幾何異性体)は構造異性体に含まれない。
- 問 4 化合物 A はベンジルアルコールの p(パラ) 位にメチル基が結合した物質。この化合物 A とフマル酸および 2-ブタノールからなるジエステルが化合物 X。
- 問 6 (5) ペプチドA は、グリシン、システイン、リシン、チロシンの 4 分子からできている。 \therefore 分子量 $75+121+146+181-18<math>\times 3=469$